



翔洋通信

翔洋学園高等学校
渉外・図書部編集
令和元年6月26日発行

可能性を信じて

理事長挨拶

日頃より当学園の運営にあたりまして、温かいご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

また、4月には保護者のご臨席を賜りウエルカムセレモニーが挙行できました事に心より感謝とお祝いを申し上げます。新しい門出を心よりお祝いし、歓迎いたします。



理事長 佐藤 睦美

さて、本校は平成12年に茨城県で最初に開校した通信制高校として創立20周年を迎えており、より自由になる時間を使い、付加価値の高い教育内容を生徒の皆様に提供すべく、地域に根付いた学習センターを開校し教育活動を展開しております。

当学園は、校訓である「自由・自主・自立」の精神の下、生徒が輝かしい人生を送れるよう「明日力(あすりょく)」の育成を大切にしております。社会の急激な変化に対応するには自ら考え行動し、困難を乗り越え、自分の手で未来を創っていく力が求められます。この力が「明日力」です。また、「豊かな心を育む指導」として「道徳教育」にも力を入れ、心身ともに成長を促す教育活動も展開しております。

自分で計画して進めるレポート学習や校外学習、体験学習からは教室で座って受ける授業とは違った学びへの自主性や興味・関心が生まれます。翔洋学園だから見つけられる夢や目標がきっとあるはずです。自由に学べる環境の中で、多様な人と出会い、様々なことにチャレンジし、自らの可能性を信じてそれぞれの道を歩んでくれることを願っております。また、当学園での生活が、将来にわたってかけがえのない大切なものを得られる時間となりますように今後とも最大限の応援をお約束いたします。

最後になりましたが、生徒並びに保護者の皆さま、関係各位の更なるご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、理事長の挨拶とさせていただきます。

令和を迎えて

校長挨拶

学校も今大きな転換期を迎えようとしています。戦後70年、最も規模の大きな教育改革が具体化されてきました。これは全世界の傾向でもありません。特に日本は、少子高齢化による学齢期の人口が年々激減し、学校が統廃合され、産業社会に代わって知識基盤社会が到来し、社会構造の変化、組織の見直し、職業の変化など様々な改善改革が求められています。本校はこの激動の中、今年創立20周年を迎えることができました。この20年で13,019名の卒業生が巣立ち、現在、在籍2,700名規模の通信制高校へと進展することができました。これも地域社会の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。20年という過程の中で最も大切に職員一同がしてきたことは、「生徒一人ひとりに対してきめ細かく親切丁寧にサポートし次のステップを踏み出せるよう対応してきた」ことです。それは職員の合言葉として「面倒見の良い翔洋」を目指してきたことです。そして今本校が地域社会において多少とも「信頼される、信用できる学校」として受け入れられてきたことを実感しています。



校長 中村 昌平

翔洋は、激動する社会の変化を真摯に受け止め、教育がインクルーシブ教育の時代に転換をはかって変わろうとしていますのでその基盤づくりを進めているところです。インクルーシブとは「包括的な、包み込む」という意味の英語で、障害の有無などによって学ぶ場や環境を分けられることなく、一人ひとりの能力や苦手さと向き合いながらともに学ぶ社会や教育のことで、本校は、積極的に受け入れサポートしていく環境の整備を進めているところです。このインクルーシブ教育を充実することは通常学級で障害のある子供とともに学ぶ環境整備を充実し、学習や行動面に困難のある子供も適切な支援を受けながら通常学級での活動ができるようにすること、共生社会に少しでも貢献できたらと思っています。そして創立30周年に向けて経営、運営両面から抜本的に見直し魅力ある学校づくりを目指して改革をしているところです。

新しい時代と「明日力」の育成に向けて

教務部

5月から元号が令和となり、新たな時代がスタートしました。新たな年度を迎え、本校にも多くの新入生が入学し、学校生活を送っています。新入生それぞれに「将来の夢を実現したい」、「自分を成長させたい」など、自分なりの志や希望をもって過ごしていることと思います。

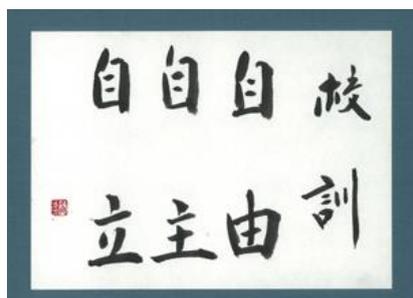
さて、これから本校での学校生活を送っていく上で、生徒には自分なりの「目標」をもって日々を過ごしてほしいと思います。ご存知のように通信制高校は、自学自習が基本となります。目標をもっていることと、もっていないことの差は、非常に大きいものがあります。目標をもつことはモチベーションを維持するためにも非常に重要です。また、目標をもっていれば、何かを達成できた時の達成感にもつながります。最終的な目標が明確になっていないと、小さな成功があっても、その時だけのものとして捉えてしまい、自分がどんな一歩を積み重ねたのかが理解できず、満足感は得られません。

本校では生徒一人ひとりが、本校での学びの中で「明日力」を育成していくことを教育方針としています。そのために、各学習センターでは様々な教育活動を実施しています。生徒の自主性や興味・関心を培う多彩な体験学習や修学旅行、豊かな心を育てるための道徳教育、生徒の一人ひとりが活躍し、主役となれる定時制通信制体育大会や芸術展、生活体験発表大会など、様々なフィールドが用意されています。生徒一人ひとりが目標をもち、本校での学校生活を通し、「明日力」を身に付け、未来に羽ばたいていくことを願っています。

「明日力」 = 自分で考え行動し、未来を創造する力

<< 「明日力」を育む翔洋学園高等学校の取り組み >>

- ① 選んで参加する校外学習など、主体性を育む多彩な学びの場づくり
- ② 体育大会や発表大会など個性を伸ばす活動の場づくり
- ③ 全教員による心のケアと全生徒の夢実現の場づくり



**「自分育て」で「明日力」向上！
いいとこ伸ばして未来に羽ばたけ！**

<< 校訓 「自由・自主・自立」 >>

生徒一人ひとりがそれぞれのペースで、個性や長所を活かしたチャレンジをし、自分の力で強くたくましく社会に羽ばたいていくことを願っています。

翔洋学園高等学校は今年度もさまざまな校外学習（体験学習）などを通して生徒の「明日力」の向上に向けて教育活動を展開してまいりますので、引き続きご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

新任教職員紹介

はじめまして！今年の4月より日立本校にて勤務することになりました大部真裕と申します。担当教科は国語です。

私の好きな言葉に「努力は人を裏切らない」という言葉があります。ぜひ卒業するまでに何か1つでも全力で取り組めることを見つけ、取り組んでみてください。どうぞよろしくお願ひいたします。



日立学習センター
大部 真裕

こんにちは！水戸学習センターの助川千恵です。生徒の皆さんが安心して高校生活を送り、笑顔で卒業式を迎えることができるよう、私も精一杯頑張りたいと思います。

担当教科は英語と公民です。英語が少し分かったら、いつもの日常も少しだけ楽しくなると思います。趣味はフラダンスです。どうぞよろしくお願ひいたします！



水戸学習センター
助川 千恵

平成最後の2月に50歳を迎え、令和元年となった今年度から、翔洋学園の職員としてフレッシュな感覚を生徒さんたちからもらいつつ、下館で勤務しています。

18年前に私立高校を退職した時、いつかフリースクールのような学校を創設したいという夢がありました。そして今、18年前の宿題に取り組み始めたような気がしています。



下館学習センター
斉藤 浩二

はじめまして。4月より下館学習センターにて勤務しております富田文香と申します。担当教科は家庭科です。大学では栄養学を専門に学んできました。

生徒の皆さんに、翔洋学園高校に入っただけよかった！と心から思ってもらえるよう、精一杯サポートしていき所存です。誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。



下館学習センター
富田 文香

はじめまして。山形メイン学習センターに勤務することになりました桑嶋智子です。中学校、高校で約20年間勤務して参りました。担当教科は国語です。趣味は旅行とガーデニング、座右の銘は「習慣が人をつくる」です。

生徒の皆さんの成長を全力で支援して参ります。精一杯頑張りますので、どうぞ、よろしくお願ひ致します。



山形メイン
学習センター
桑嶋 智子

こんにちは。ネットキャンパスで勤務することになりました倉島可奈です。担当教科は理科です。座右の銘は自分をきかたえることをやめないという意味の「自彊(じきょう)不息(やまず)」です。

皆さんの高校生活が充実したものとなるように、また私自身も成長できるように精一杯努めてまいります。よろしくお願ひいたします。



ネット
キャンパス
倉島 可奈

<スクールカウンセラーのご案内>

本校にはスクールカウンセラーの先生がいらっしゃいます。必要に応じて各センター等で相談することができます(秘密は厳守いたします)。なお、事前予約制になっておりますので、詳しくは各学習センター等の職員におたずねください。

図書コーナー

本コーナーでは渉外・図書部職員おすすめの本を紹介していきます。もし興味がありましたらお手に取ってみてください。



<書名>

『「ぱっと見」では気づかない すごすぎる雑草』

著：岩槻秀明 出版社：大和書房(ビジュアルだいわ文庫) 発行年月：2019年5月

<ブックレビュー>

「雑草」と聞いてどんなイメージをお持ちでしょうか？実は雑草の定義は広く、道端に生えている草はもちろんのこと、タンポポやスマレ、クローバー（シロツメクサ）、芝生（シバ）なども雑草の部類に入ります。

どちらかという（明らかに？）やっかいもの扱いをされてしまう「雑草」もたくましく、そしてけなげに生きています。「雑草魂」という言葉もありますね。そんな雑草たちの生きざまをご覧ください！！

翔洋学園高等学校は今年度、創立20周年目を迎えます

翔洋学園高等学校は平成12（2000）年に茨城県内初の私立通信制高等学校として開校しました。全国でも初となる「学習センター方式」を取り入れました。本校は通信制高校でありながら生徒がいつでも通え、居場所となる学びの場を設けた学校として開校以来成長を続け、現在では茨城県、福島県、千葉県を中心に東日本に学習センターを置き、1都16県の生徒が学ぶ学校となりました。また、卒業生は1万3019人（平成31年3月）となっております。

そこで、本コーナーでは20年を振り返り、そしてこれからの翔洋学園高等学校についてご説明をまいります。第1回目は20年のあゆみをご紹介します。

- ・平成12年度：茨城県日立市に本校を、茨城県初の私立通信制高校として開校
日立市・水戸市・土浦市・千葉県柏市・千葉県千葉市・東京都に学習センターを開設
- ・平成13年度：福島県いわき市に学習センターを開設
- ・平成15年度：古河市に学習センターを開設
HRにおける生徒の成長を重んじ、HR講話集の編纂を開始
- ・平成16年度：下館市に学習センターを開設
- ・平成18年度：福島県会津若松市に学習センターを開設
茨城県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に初出場で全国大会に出場
- ・平成19年度：生徒の心の教育をより重視し、HR講話集を『心ゆたかに』と改称
全国定時制通信制体育大会に初出場
- ・平成21年度：創立10周年記念式典を挙げる
- ・平成25年度：社会の変化に対応しより広い学びの機会をつくるため、ネットキャンパスを開設
- ・平成26年度：創立15周年を迎え、「新生」を掲げ校内の教育改革を実施
- ・平成30年度：山形県山形市に学習センターを開設
- ・令和元年度：創立20周年記念式典を挙行予定 [11月1日(金)：水戸プラザホテル]



<校章>

平成14年度に生徒・教職員の公募によって制定されました。

「太陽・星・光・海・山そして翼」をイメージして図案化しました。